

市政懇談会報告

今年6月から10月にかけて、市民と団体の皆さんを対象として開催した市政懇談会の開催内容の一部を紹介します。詳しくは、笠間市ホームページ「市政懇談会(平成24年度)」をご覧ください。

自主防災組織の結成について

Q 自主防災について、区内での話し合いがなかなか進まないのので、行政が働きかけをしてほしい。

A 自主防災組織の重要性は、認識していただいていると思いますが、地域によって温度差があったり、まとまり具合が障害になったりと状況が違います。市では自主防災組織に関する映画会等の啓発活動に協力をしていきたいと思えます。地区内の雰囲気が変われば弾みがつくと思います。

設立については、組織として確立し、年に一回程度集まり、役割を確認するくらいでもよいと思います。現在、結成に向けて進んでいる10程度の団体を含めて、約50の自主防災組織が笠間市にはあります。ある程度の自主防災組織ができたなら、自主防災組織の連絡協議会を立ち上げ、地域間の意見交換会などを行いたいと考えています。(※10月16日現在、74の自主防災組織が設立しています)

地場産野菜の放射能問題について

Q 地場産野菜で放射能などの風評被害はなかったのか。

A お茶と原木しいたけと乾しいたけ以外に放射能の問題は

ありません。風評被害もありましたが、今は落ち着いてきました。

ゆかいふれあいセンターと笠間二小学区の公園について

Q ゆかいふれあいセンターはいつかから使えるようになるのか。また、笠間二小学区には公園が少ないので、公園を作ってほしい。

A ゆかいふれあいセンターは、東日本大震災でプールの設備がかなり傷んでしまいました。最初は再開が難しかったのですが、国の補助がつくことになり、今年度中に全面改修を行います。来年4月から使えるようになる予定です。

笠間二小学区を含めて全域的に公園を作ってほしいという要望があります。市では、市民センターいわまのように既存の場所に遊具を設置して充実したり、市の土地があった柿橋地区には公園を作ったりしています。市が新たな土地を購入して公園を作ることなどは難しいので、市の遊休地があるなど、一定の条件や周辺の状況を調査し、検討していきます。

笠間市の歴史について

Q 子どもたちに、地元の歴史に関する授業をしてはどう

か。

A 合併して7年目になります。大人も含めて地元の旧市町のことなら、ある程度知っています。合併後の笠間市全体となると把握している方はまだ少ないと思います。子どもたちも同様だと思えます。授業の中で笠間市の歴史を勉強したり、笠間市出身の偉人を取り上げたりします。その中で子どもたちの知識が深まってくれと思います。

自転車の運行指導について

Q 平成20年5月から通行区分が変わり、自転車は車両と同じ扱いになった。高齢者への技術指導が必要と思うが周知する機会はないか。

A 交通安全協会です。自転車運行についての技術指導を行っていることを、高齢者クラブ連合会や地域の高齢者クラブの団体等にお知らせしていきます。

通学路の危険箇所について

Q 通学路の危険箇所についてのどのような対応をしているのか。

A 危険箇所について緊急調査をしたところ、市内の危険箇所は全体で約60か所、この内市道30か所、あとは県道や信号機などです。それぞれ県

らくようかん 楽腰館 東平鍼・灸接骨院

笠間商品券使えます(11/30まで)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:30	○	○	○	/	○	○	○
午後2:30~ 8:30	○	○	○	/	○	○	○

笠間市東平2丁目12番8号
TEL 0296-77-9939
休診日/木曜日

土・日 診療中!

県立中央病院通り沿い

- 往療可
- 急患受付
- 通院送迎実施中(無料)

道は県に、信号機などは警察に要望していきます。市道については今回の調査の前から対応しているところもありありますので、併せて改修を進めていきます。

また、報道によると運転者も無謀な運転をしている場合があるようなので、危険運転の取り締まり強化も必要だと思います。

市民体育館の再開時期について

Q市民体育館はいつから使えるようになるのか。

A市民体育館は、東日本大震災で天井が落下するなど大きな被害を受けました。この体育館は国体が開催された昭和49年に建設された施設で、床やトイレなどに傷みがありましたので、この機会に改修する予定です。また、現在、使えなくなっている友部公民館体育室などの施設は、来年の4月から使えるように工事などを進めています。

敬老会の予算について

Q敬老会の予算が少ないので市で助成を増やしてほしい。

A市では敬老会の事業費として一人2,000円を助成しています。現在、敬老会は集会所や公民館単位で行ったり、学校単位で行ったりしています。

す。今後、市からの助成金が増えることはありません。大変でもその金額の中で工夫できるような取組みをお願いします。一人当たりの単価は変わらなくても、市で支出する金額は増えていきます。しかし、市全体の予算も際限なく増やしていくわけにはいきません。全体を抑えていかなければ市の財政がもたなくなると考えられています。

兼業農家への支援策について

Q笠間の農家は90%が兼業農家なので、耕作放棄地対策のためにも兼業農家に対し、支援策を講じてほしい。

A今後の農業の展望として、兼業農家から、専業農家・法人化へといった集約化にどうもっていかだと思っています。農林水産省で「人農地プラン」という、地域農業の将来について話し合うという計画が始まり、笠間市でもスタートしています。農地と農家を集約していくことが必要な時代がきたのだと思います。

いじめについて

Qいじめについて、笠間市ではどうなっているのか。

A笠間市の実態は、4月から

7月の間で小学校で5件、中学校で16件ありましたが、すべて解決しています。現在中学校で2件のいじめを確認しており、解決に向けて取り組んでいます。いじめについては、学校ですべて把握するのは難しいと思います。学校の責任もあります。保護者の皆さんにも、自分の子どもの変化に気付いて学校に相談していただければと思います。

笠間市健康づくり計画について

Q「笠間市健康づくり計画」とは、どういった活動なのか。

A今年の2月に世界保健機関(WHO)が提唱する健康都市連合に加入し、「健康都市宣言」をしました。なぜ「健康都市かさま宣言」なのかというと、笠間市は合併して7年になります。笠間市全体として誰もが取り組む事業がありませんでした。市民すべての方に関わる共通のテーマや取り組みについて、いろいろな観点から協議した結果、「健康」が良いのではないかとということで、市民全体で「健康づくり」をしていこうと「健康都市宣言」をしました。そして、今年の7月に茨城県教育研修センターで、「健康づくり市民大会2012」を開催しました。宣言をしたのは2月ですが、

事業としてはこの市民大会からが実質的なスタートです。

市が目指す「健康都市」は、保健や医療、予防や食育だけではなく、まちづくりや地域づくりなど、すべての生活に関わる都市づくりという位置づけです。いろいろな分野に渡り、市全体の盛り上がりをしていく見出しが今後の課題です。

ご当地ナンバープレートについて

Qご当地ナンバープレートを笠間市でもPRのために導入してはどうか。

Aご当地ナンバーは何年前か一度検証しましたが、ナンバープレートを作るのに約1,000万円の経費がかかるというので、再検討して見ました。



市政懇談会の様子

【乳がん】

11月に入り、木々の落葉や空気の冷たさから冬の気配を少しずつ感じるようになってきましたね。本格的な冬の到来に向けて、準備は万全ですか？今回は、健康管理の1つとして「乳がん」の早期発見のため、自己検診のご案内です。

最近ではピンクリボン運動で、乳がんの早期発見の必要性を皆さんも耳にしたことがあると思います。しかし、乳がん検診の受診率は全国平均12.1%とまだまだ低いのが現状です。H22年度厚生労働省統計データより、皆さんご存知ですが？現在、乳がんは女性のがんの罹患率第1位で、日本女性は「16人に1人が罹患する」と言われています。さらに乳がんによる死亡者数は増加傾向にあり、2001年には発病された方の30%が亡くなっています。(国立がんセンターがん対策情報センター「HPより」)

乳がんの早期発見の手段のひとつとして、プレストケア(乳房チェック)があります。いわゆる、自己検査により乳房の変化を見つける方法です。なんとなくは知っていても、実際に自分で行っている方は少ないのではないのでしょうか。保険クリニック友部スクエアでは、早期発見のお手伝いの一環として「プレストケアクラブ(自己検診補助用具)」をお配りしています。自宅ですべての自己検診用のキットで、11月中にご相談いただいた方に無料でお配りいたしますので、ぜひお気軽にお越しください。

11月30日までに「広報かさま」を見たご予約すると来店相談料が無料に。2回目以降の相談も無料です！
(通常3,150円)



保険クリニック
hoken clinic

友部スクエア店
〒309-1716
笠間市住吉1364-1

ご相談予約・お問合せは
0120-650-121
営業時間 10:00~20:00